

施設長・理事長への質問

回答数 37

※「複数回答可」ではない設問であっても、回答が複数記入されていた場合はそれぞれ計上したため、回答数の合計が合わない場合がある。

		回答数	回答率
Q1	インドネシア人候補者を受け入れた理由は何ですか。また、実際に受け入れてみて、当初の目的は達成されているとお考えですか。 【複数回答可】	国際貢献・国際交流のため	30 81.1%
		達成されている。	1 3.3%
		概ね達成されている。	21 70.0%
		どちらともいえない。	6 20.0%
		あまり達成されていない。	1 3.3%
		全く達成されていない。	1 3.3%
		将来の外国人受入れのテストケースとして	33 89.2%
		達成されている。	1 3.0%
		概ね達成されている。	20 60.6%
		どちらともいえない。	10 30.3%
		あまり達成されていない。	2 6.1%
		全く達成されていない。	0 0.0%
		人手不足の解消のため	18 48.6%
		達成されている。	1 5.6%
		概ね達成されている。	6 33.3%
		どちらともいえない。	5 27.8%
		あまり達成されていない。	5 27.8%
		全く達成されていない。	1 5.6%
		職場の活性化のため	29 78.4%
		達成されている。	6 20.7%
概ね達成されている。	17 58.6%		
どちらともいえない。	6 20.7%		
あまり達成されていない。	0 0.0%		
全く達成されていない。	0 0.0%		
その他	10 27.0%		
達成されている。	2 20.0%		
概ね達成されている。	7 70.0%		
どちらともいえない。	2 20.0%		
あまり達成されていない。	0 0.0%		
全く達成されていない。	1 10.0%		
Q2	貴施設での受入れを決める際、施設職員との話合いの場はもたれましたか。	候補者の受入れを決める前に、施設職員と話合いを行い、施設職員の理解を得た上で、候補者の受入れを決めた。	16 43.2%
		候補者の受入れを決める前には、施設職員と話合いを行わなかったが、候補者の受入れを決めた後に、施設職員に伝達した。	21 56.8%
Q3	貴施設での受入れを決める際、利用者やその御家族との話合いの場はもたれましたか。 【複数回答可】	候補者の受入れを決める前に、利用者との話合いをした。	2 5.4%
		候補者の受入れを決める前に、利用者の御家族との話合いをした。	2 5.4%
		候補者の受入れを決めた後に、利用者との話合いをした。	13 35.1%
		候補者の受入れを決めた後に、利用者の御家族との話合いをした。	22 59.5%
		候補者の受入れに当たり、利用者やその御家族との話合いはしていない。	11 29.7%
	候補者に対して、どのような	日本語学校に通学させている。	3 8.1%
		日本語の専門家に来てもらい、個人指導を行ってもらっている。	20 54.1%
		ボランティア(日本語の専門家を除く。)に来てもらい、個人指導を行ってもらっている。	12 32.4%

Q4	日本語学習を行わせていますか。 【複数回答可】	レポートや日記を書かせている。	27	73.0%
		日本語の問題集を使わせている。	24	64.9%
		日本語能力試験の受験に向けた勉強を行わせている。	23	62.2%
		e-learningを活用させている。	10	27.0%
		日々の学習は、研修責任者(研修支援者)に任せているため、具体的な学習内容は把握していない。	4	10.8%
Q5	現在、候補者の日本語能力はどの程度の水準に達していますか。	特に問題なく意思疎通ができる。	13	35.1%
		時々話が通じないときはあるが、ゆっくり話せば概ね伝わる。	22	59.5%
		挨拶や簡単な会話程度であれば、なんとか伝わる。	2	5.4%
		意思疎通が全くできない。	0	0.0%
Q6	候補者とコミュニケーションがとれているのは誰ですか。	すべての利用者・職員	23	62.2%
		特定の利用者・職員	13	35.1%
		日頃から候補者の研修等を担当している職員のみ(利用者や候補者の研修等を担当していない職員とはコミュニケーションがとれない。)	1	2.7%
Q7	候補者とのコミュニケーションがうまくいかず、問題が生じた(生じている)事例はありますか。	ない	25	67.6%
		ある	12	32.4%
Q8	候補者と職員との引き継ぎ・申し送りは円滑に実施できていますか。	問題なく実施できている。	5	13.5%
		日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をすれば、何とか実施できる。	24	64.9%
		日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をしても、引き継ぎ・申し送りに一部支障がある。	6	16.2%
		日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をしても、引き継ぎ・申し送りはほとんどできない。	2	5.4%
Q9	候補者は、日誌や介護記録に記載されている内容を理解できていますか。	問題なく理解できている。	2	5.4%
		一部理解できていない部分があるようだが、概ね理解できている。	28	75.7%
		ほとんど理解できていない。	7	18.9%
		未回答	1	2.7%
Q10	2年後(平成24年1月頃)の国家試験に向けた候補者の学習態度はどうですか。	日本でずっと働き続けたいと思っている様子であり、真剣に学習している。	12	32.4%
		日本でずっと働きたいと思っているかどうかは不明だが、国家試験には合格したいと考えている様子であり、真剣に学習している。	19	51.4%
		国家試験に合格できれば幸運と認識しているようであり、学習してはいるものの、真剣さには欠ける面がある。	7	18.9%
		施設で働き始めた当初は国家試験に合格したいと考えていたようだが、日本語の習得が思うようにいかず、学習を投げ出しつつある。	2	5.4%
		最初から「出稼ぎ目的」といった雰囲気であり、国家試験に合格したいという気持ちが感じられない。	4	10.8%

		その他	2	5.4%	
Q11	国家試験合格後の候補者の処遇について、現時点でどのように考えていますか。	候補者には、国家試験合格後も、引き続き、当施設で働き続けてもらいたいと考えており、そのため、現段階から、候補者の国家試験合格に向けた様々な支援策等を講じている。	32	86.5%	
		現時点では、当施設で3年間働き続けてもらえばよいと考えており、国家試験合格後の具体的な処遇については特段検討していない。	2	5.4%	
		未回答	3	8.1%	
Q12	候補者は夜勤を実施していますか。	職員の付き添いなしに、一人で実施している。	2	5.4%	
		職員が付き添って指導しながら、実施している。	8	21.6%	
		実施していない。	27	73.0%	
Q13	(Q12で「実施している」とお答えした方にお伺いします。なお、一人で実施しているか、職員が付き添って指導しているかは問いません。) 候補者はいつから夜勤を実施していますか。	配属直後から	1	10.0%	
		配属後3～4か月経過してから	1	10.0%	
		配属後7～8か月経過してから	7	70.0%	
		配属後10～11か月経過してから	1	10.0%	
Q14	候補者を受け入れたことにより、利用者やその御家族との間で何らかのトラブルが発生しましたか。	発生した。	1	2.7%	
		発生していない。	35	94.6%	
		未回答	1	2.7%	
Q15	候補者を受け入れたことにより、貴施設が提供する介護サービスの質について、どのような変化がありましたか。	サービスの質が著しく向上した。	0	0.0%	
		どちらかというサービスの質が向上した。	16	43.2%	
		サービスの質は特に変わらない。	19	51.4%	
		どちらかというサービスの質は低下した。	2	5.4%	
		サービスの質が著しく低下した。	0	0.0%	
Q16	今後、候補者を再度受け入れたいとお考えですか。	機会があれば受け入れたい。	11	29.7%	
			現時点では何とも言えない。	15	40.5%
			受け入れたくない。	11	29.7%
		【複数回答可】 し(→受け入れたくない。と回答	職員が確保しやすくなったため、敢えて受け入れる必要がない。	1	9.1%
			候補者を受け入れるための経済的・人的負担が大きい。	8	72.7%
			現在受け入れている候補者への研修に集中したい。	6	54.5%
			新たな候補者のための住居が確保できない。	0	0.0%
			その他	2	18.2%
			未回答	1	9.1%

Q17	仮に、再度候補者を受け入れるとした場合、どのような候補者であれば受け入れてもよいと考えますか。(Q16で「受け入れたくない」と回答した場合であっても、受け入れると仮定した場合の対応についてお答えください。) 【複数回答可】	日本語での意思疎通が十分にできる候補者	26	70.3%
		介護業務の適性がある候補者	24	64.9%
		研修責任者や他の職員の指導に真摯に耳を傾け、就労・研修に真面目に取り組む候補者	24	64.9%
		介護福祉士国家試験に合格すべく、日本語や介護の勉強に真摯に取り組む候補者	26	70.3%
		その他	4	10.8%
Q18	貴施設では、現在、人手が足りている状況ですか。	職員が過剰である。	3	8.1%
		適当な水準である。	21	56.8%
		職員がやや不足している状況である。	11	29.7%
		職員が不足している状況である。	2	5.4%
		職員が大いに不足している状況である。	0	0.0%
Q19	(Q18で「やや不足」「不足」「大いに不足」とお答えした方にお伺いします。) 人手不足の状況を解消するために、現在、どのような取組を行っていますか。 【複数回答可】	ハローワーク、福祉人材センター等を通じて職員を募集している。	12	92.3%
		初任給を上げるなど、求職者にとって魅力的な職場となるよう労働条件の改善に取り組んでいる。	6	46.2%
		育児期間中の職員の勤務時間に配慮するなど、育児と仕事の両立支援策を講じている。	6	46.2%
		介護福祉士養成校や学生等に対する積極的なPR活動を行っている。	8	61.5%
		今のところ特筆すべき取組は行っていない。	0	0.0%
		その他	1	7.7%
Q20	現在受け入れている候補者と全く同じ労働条件で職員を募集した場合、どの程度の求職者から応募があると思いますか。	候補者にはある程度の給料を支払っており、寮の確保(ないしは職員よりも多めの住宅手当を支給)など、生活面でも手厚い支援を講じているため、相応の求職者から応募があると考えている。	15	40.5%
		日本人の介護業務経験者を募集するときと全く同じ労働条件であるため、現下の厳しい雇用情勢に鑑みれば、多少は求職者から応募があると考えている。	18	48.6%
		日本人の介護業務未経験者を募集するときと全く同じ労働条件であり、最低水準の給与しか支払われないため、求職者からの応募はほとんどないのではないかと考えている。	3	8.1%
		その他	1	2.7%
Q21	候補者の受入れに関して、課題だと思っている点がありましたら、御自由に御記入下さい。	(※1)		
Q22	国際厚生事業団(JICWELS)に対する御意見・御要望等がありましたら、御自由に御記入下さい。	(※2)		

※1 候補者の受入れに関する課題（Q21）

	回答数
候補者が介護保険法上の人員配置基準に含まれないこと	6
受験機会が一度しかないこと	5
就労開始前の候補者の日本語能力が十分でないこと	5
施設内研修にかかる負担が大きい、効果的な教育方法が分からないこと	4
受入施設の金銭的負担が大きいこと	3
国民性に起因する候補者との認識の違いが大きいこと	2
学習意欲のない候補者を雇用し続けなければならないこと	2
候補者の選考基準として、人柄を重要視すべきであること	1
厚生労働省の協力体制がないこと	1
現行制度では合格者を出すのは至難であること	1

※2 国際厚生事業団への御意見・御要望（Q22）

	回答数
施設内研修に関する支援（日本語、受験対策）の充実	6
国家試験に何らかの配慮をして欲しい	4
受入施設へのメリットが少ない	2
モチベーションが低下している候補者のフォローアップをして欲しい	1
候補者に対して、日本の税金、保険料等の天引きについて事前によく説明しておいて欲しい	1
ガルーダ・サポーターズの要望書の実現	1
就労開始前の候補者の日本語能力の向上	1
もっと情報提供をして欲しい	1
対応が遅い	1
その他	5

「その他」の記載例（一部）

- (Q1) ・ 文化を取り入れ、また、自分たちを見つめ直すため。
- ・ 目前に迫った若年労働者人口の減少を見据えて。
- ・ 広い意味での福祉人材育成のため。
- (Q7) ・ 介護の方法について理解できていると思っていたが、実際はほとんど理解できていなかった。
- ・ 候補者の本音の把握、モチベーションの維持。
- ・ 物事を理解するのに時間がかかる。
- ・ 職員の指示を理解していなくても「分かりました」と答える。
- (Q10) ・ 可能であれば、帰国を含めて検討したい。
- (Q14) ・ 認知症の利用者に言われたとおりにした結果、皮膚に直接カイロを張ってしまった。
- (Q16) ・ 仕事以外の負担も大きい。
- (Q17) ・ 3年の研修期間終了後も施設に残ってくれることが保証されている候補者。
- (Q20) ・ 特別な条件であるため、募集はあり得ない。

研修責任者への質問

回答数 38

※「複数回答可」ではない設問であっても、回答が複数記入されていた場合はそれぞれ計上したため、回答数の合計が合わない場合がある。

			回答数	回答率	
Q1	インドネシア人候補者を受け入れたことにより、職員の皆さんにどのような影響がありましたか。 【複数回答可】	職員の顔ぶれがそれほど変わらない中で、バックグラウンドが異なる候補者が入ってきたことにより、職員にとっても大きな刺激となっている。	22	57.9%	
		候補者に介護知識や技術を教えるためにも、職員自身が一から勉強し直す必要があり、その意味で大変勉強になっている。	21	55.3%	
		通常の日常業務に加えて、候補者のフォローや教育まで行うこととなり、残業時間や出勤日が増加するなど、受入前に比べて勤務環境が悪化した。	11	28.9%	
		候補者が安価な労働力として取り扱われており、それに引きずられて、職員の給与まで下げられた。	0	0.0%	
		候補者の研修担当ではなく、候補者と日常的に接点があるわけではないので、影響は特にない。	0	0.0%	
		その他	6	15.8%	
Q2	候補者を受け入れて良かったと思いますか。	大変良かったと思う。	7	18.4%	
		まあまあ良かったと思う。	19	50.0%	
		どちらともいえない。	10	26.3%	
		どちらかというが悪かったと思う。	2	5.3%	
		受け入れるべきではなかったと思う。	0	0.0%	
Q3	候補者が行っている業務についてお聞きします。 (1)現在の状況(水準)を教えてください。	業務は基本的に一人で行っており、日本人の職員とほぼ変わらない。	14	36.8%	
		職員が付き添って指導すれば、どの業務も概ね問題なく対応できる。	6	15.8%	
		職員が付き添って指導すれば、一部の業務については、概ね問題なく対応できる。	22	57.9%	
	(2)研修開始後に候補者が従事した業務を教えてください。 (候補者一人で行えるか否かは問いませんので、職員が付き添って指導しながら業務に従事している場合にも、チェックをしてください。)	【配属直後】	食事介助	29	76.3%
			排泄介助	24	63.2%
			移動介助	20	52.6%
			入浴介助	13	34.2%
			介護記録の作成	1	2.6%
			その他	7	18.4%
			未回答	2	5.3%
	【配属後3~4か月】	食事介助	32	84.2%	
		排泄介助	33	86.8%	
		移動介助	34	89.5%	
		入浴介助	28	73.7%	
		介護記録の作成	7	18.4%	
その他		9	23.7%		
【配属後7か月】	食事介助	36	94.7%		
	排泄介助	36	94.7%		
	移動介助	36	94.7%		

	【複数回答可】	5 8 か月	入浴介助	34	89.5%
			介護記録の作成	16	42.1%
			その他	10	26.3%
	【現在】	食事介助	36	94.7%	
		排泄介助	36	94.7%	
		移動介助	36	94.7%	
		入浴介助	35	92.1%	
		介護記録の作成	22	57.9%	
		その他	11	28.9%	
	Q4	施設で働き始めた当初、候補者に明らかに欠けていると思われる介護知識や技術はありましたか。 【複数回答可】	認知症の利用者への対応能力	23	60.5%
死期が近い利用者への対応能力			15	39.5%	
食事介助			9	23.7%	
排泄介助			10	26.3%	
移動介助			11	28.9%	
入浴介助			15	39.5%	
介護記録の作成			33	86.8%	
その他			3	7.9%	
特になし			1	2.6%	
未回答			1	2.6%	
Q5	候補者のコミュニケーション能力(日本語に限る。)は十分ですか。	特に問題なく意思疎通ができる。	9	23.7%	
		時々話が通じないときはあるが、ゆっくり話せば概ね伝わる。	28	73.7%	
		挨拶や簡単な会話程度であれば、なんとか伝わる。	2	5.3%	
		意思疎通が全くできない。	0	0.0%	
Q6	候補者とコミュニケーションがとれているのは誰ですか。	すべての利用者・職員	25	65.8%	
		特定の利用者・職員	15	39.5%	
		日頃から候補者の研修等を担当している職員のみ(利用者や候補者の研修等を担当していない職員とはコミュニケーションがとれない。)	0	0.0%	
Q7	候補者とのコミュニケーションがうまくいかず、問題が生じた(生じている)事例はありますか。	ない	19	50.0%	
		ある	19	50.0%	
Q8	候補者と職員との引き継ぎ・申し送りは円滑に実施できていますか。	問題なく実施できている。	5	13.2%	
		日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をすれば、何とか実施できる。	19	50.0%	
		日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をしても、引き継ぎ・申し送りに一部支障がある。	14	36.8%	

		日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をしても、引き継ぎ・申し送りはほとんどできない。	2	5.3%
Q9	候補者は、日誌や介護記録に記載されている内容を理解できていますか。	問題なく理解できている。	2	5.3%
		一部理解できていない部分があるようだが、概ね理解できている。	33	86.8%
		ほとんど理解できていない。	5	13.2%
Q10	候補者を受け入れたことにより、貴施設が提供する介護サービスの質について、どのような変化がありましたか。	サービスの質が著しく向上した。	1	2.6%
		どちらかというサービスの質が向上した。	10	26.3%
		サービスの質は特に変わらない。	24	63.2%
		どちらかというサービスの質は低下した。	2	5.3%
		サービスの質が著しく低下した。	0	0.0%
		その他	1	2.6%

「その他」の記載例（一部）

- (Q1) ・ 新人職員に対する職員の教え方が変化した。
 ・ 候補者とのコミュニケーションに時間がかかるため、職員が心理的疲労を感じている。
- (Q4) ・ 重度の要介護者への対応能力
- (Q7) ・ 同じ言葉でも意味の違うものが理解できない。
 ・ 同じ内容を繰り返し指導を受ける事で怒られていると思い、モチベーションが下がってしまうことがあった。
 ・ 時間のけじめがルーズに見える。日本人の感覚に合わない。

施設職員への質問

回答数 167

※「複数回答可」ではない設問であっても、回答が複数記入されていた場合はそれぞれ計上したため、回答数の合計が合わない場合がある。

			回答数	回答率
Q1	インドネシア人候補者を受け入れたことにより、職員の皆さんにどのような影響がありましたか。 【複数回答可】	職員の顔ぶれがそれほど変わらない中で、バックグラウンドが異なる候補者が入ってきたことにより、職員にとっても大きな刺激となっている。	107	64.1%
		候補者に介護知識や技術を教えるためにも、職員自身が一から勉強し直す必要があり、その意味で大変勉強になっている。	106	63.5%
		通常の日常業務に加えて、候補者のフォローや教育まで行うこととなり、残業時間や出勤日が増加するなど、受入前に比べて勤務環境が悪化した。	13	7.8%
		候補者が安価な労働力として取り扱われており、それに引きずられて、職員の給与まで下げられた。	0	0.0%
		候補者の研修担当ではなく、候補者と日常的に接点があるわけではないので、影響は特にはない。	10	6.0%
		その他	12	7.2%
Q2	候補者を受け入れて良かったと思いますか。	大変良かったと思う。	67	40.1%
		まあまあ良かったと思う。	55	32.9%
		どちらともいえない。	42	25.1%
		どちらかいうと悪かったと思う。	1	0.6%
		受け入れるべきではなかったと思う。	1	0.6%
Q3	候補者のコミュニケーション能力(日本語に限る。)は十分ですか。	特に問題なく意思疎通ができる。	32	19.2%
		時々話が通じないときはあるが、ゆっくり話せば概ね伝わる。	121	72.5%
		挨拶や簡単な会話程度であれば、なんとか伝わる。	15	9.0%
		意思疎通が全くできない。	1	0.6%
Q4	候補者とコミュニケーションがとれているのは誰ですか。	すべての利用者・職員	95	56.9%
		特定の利用者・職員	68	40.7%
		日頃から候補者の研修等を担当している職員のみ(利用者や候補者の研修等を担当していない職員とはコミュニケーションがとれない。)	2	1.2%
		未回答	3	1.8%
Q5	候補者とのコミュニケーションがうまくいかず、問題が生じた(生じている)事例はありますか。	ない	119	71.3%
		ある	41	24.6%
		未回答	6	3.6%
		問題なく実施できている。	32	19.2%
		日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をすれば、何とか実施できる。	99	59.3%

Q6	候補者と職員との引き継ぎ・申し送りは円滑に実施できていますか。	日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をしても、引き継ぎ・申し送りに一部支障がある。	34	20.4%
		日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をしても、引き継ぎ・申し送りはほとんどできない。	1	0.6%
		未回答	1	0.6%
Q7	候補者は、日誌や介護記録に記載されている内容を理解できていますか。	問題なく理解できている。	11	6.6%
		一部理解できていない部分があるようだが、概ね理解できている。	138	82.6%
		ほとんど理解できていない。	15	9.0%
		未回答	3	1.8%
Q8	候補者を受け入れたことにより、貴施設が提供する介護サービスの質について、どのような変化がありましたか。	サービスの質が著しく向上した。	10	6.0%
		どちらかというサービスの質が向上した。	49	29.3%
		サービスの質は特に変わらない。	107	64.1%
		どちらかというサービスの質は低下した。	0	0.0%
		サービスの質が著しく低下した。	0	0.0%

「その他」の記載例（一部）

- (Q1) ・ 教え方について自省することができ、新人教育に役に立った。
 ・ 施設から強要されているわけではないが、時間外でやるが増えているのは事実。
 ・ 言葉が通じず、コミュニケーションが大変である。
- (Q5) (利用者との間で発生している問題)
- ・ 服薬もれがあった。
 - ・ 利用者のお話の内容で理解できなかった事は、そのままにしてしまう。
 - ・ 方言が理解できず、悩んでいる様子が時々見られる。
 - ・ 軽い事故(内容について詳細な記載なし。)があった。
- (候補者本人とのやり取りで生じた事例)
- ・ 日本人の理解が十分でないため、業務内容が伝わらず業務に支障が生じる、時間を守れないといったことがある。
 - ・ 申し送りの内容が理解できない。
 - ・ 注意・助言が候補者の気分を害させてしまう。やわらかく伝える方法が難しい。

利用者への質問

回答数 108

※「複数回答可」ではない設問であっても、回答が複数記入されていた場合はそれぞれ計上したため、回答数の合計が合わない場合がある。

		回答数	回答率
Q1	インドネシア人候補者とお話ししたことはありますか。	ない	6 5.6%
		ある	103 95.4%
Q2	(Q1で「ない」とお答えした方にお伺いします。) 候補者とお話ししたことがない理由を教えてください。	たまたま話をする機会がなかった。	4 66.7%
		候補者の評判が悪く、話をしたいと思わなかった。	0 0.0%
		候補者に対する特別な感情はないが、外国人と話をすることに拒否反応がある。	0 0.0%
		未回答	2 33.3%
Q3	(Q1で「ある」とお答えした方にお伺いします。) 候補者とは、日本語で意思疎通を行うことができますか。	特に問題なく意思疎通ができる。	64 62.1%
		時々話が通じないときはあるが、ゆっくり話せば概ね伝わる。	35 34.0%
		挨拶や簡単な会話程度であれば、なんとか伝わる。	6 5.8%
		意思疎通が全くできない。	0 0.0%
Q4	(Q1で「ある」とお答えした方にお伺いします。) 候補者が提供する介護サービスの質は十分ですか。	日本人よりも質が高い、もしくは十分満足できる水準である。	13 12.6%
		概ね満足できる水準である。	61 59.2%
		普通(どちらともいえない。)	32 31.1%
		あまり満足できる水準ではない。	0 0.0%
		全く満足できない。	0 0.0%
		候補者の介護サービスを受けたことがない。	1 1.0%
		未回答	1 1.0%
Q5	利用者の方から見て、候補者の働きぶりはいかがですか。	大変仕事熱心であり、高く評価できる。	85 78.7%
		足りない部分はあるが、概ね評価できる。	17 15.7%
		普通(どちらともいえない。)	5 4.6%
		足りない部分が多く、あまり評価できない。	1 0.9%
		全く評価できない。	1 0.9%
Q6	候補者と日本人スタッフのどちらから介護サービスを受けたいですか (複数回答可)	候補者	7 6.5%
		日本人スタッフ	30 27.8%
		どちらでもよい	72 66.7%
		介護サービスの質は、候補者・日本人スタッフともにあまり変わらないため。	50 69.4%

	か。	ち ら で も よ い と	候補者と日本人スタッフとでは介護サービスの質に差はあるものの、候補者が介護サービスを提供する場合には、日本人スタッフが付き添っており、実質的には日本人スタッフによる介護と同じであるため。	8	11.1%
			未回答	14	19.4%
Q7	候補者を受け入れたことにより、施設が提供する介護サービスの質に変化はありましたか。		サービスの質が著しく向上した。	14	13.0%
			どちらかというサービスの質が向上した。	22	20.4%
			サービスの質は特に変わらない。	70	64.8%
			どちらかというサービスの質は低下した。	1	0.9%
			サービスの質が著しく低下した。	0	0.0%
			未回答	1	0.9%
Q8	候補者を受け入れたことにより、施設の雰囲気に変化はありましたか。		候補者は元気が良く、明るいので、以前に比べて、施設内の雰囲気も明るくなった。	49	45.4%
			候補者の教育に日本人スタッフの手が取られている様子で、以前に比べて、施設全体としてピリピリしている印象がある。	1	0.9%
			候補者の教育を担当している日本人スタッフは大変そうだが、施設全体として見た場合には、特に変わりはない。	41	38.0%
			その他	14	13.0%
			未回答	4	3.7%

「その他」の記載例（一部）

- (Q8) ・ いろいろな人がいて良い。
 ・ 教育を担当している日本人スタッフも前と同じ様子であり、雰囲気に変化はない。

利用者の家族への質問

回答数 105

※「複数回答可」ではない設問であっても、回答が複数記入されていた場合はそれぞれ計上したため、回答数の合計が合わない場合がある。

			回答数	回答率
Q1	インドネシア人候補者が本施設で働くことについて、どのように感じますか。	大変歓迎している。	57	54.3%
		概ね歓迎できる。	36	34.3%
		普通(どちらともいえない)	12	11.4%
		あまり歓迎していない。	0	0.0%
		全く歓迎していない。	0	0.0%
		未回答	1	1.0%
Q2	候補者を受け入れたことにより、施設が提供する介護サービスの質に変化はありましたか。	サービスの質が著しく向上した。	16	15.2%
		どちらかというサービスの質が向上した。	29	27.6%
		サービスの質は特に変わらない。	55	52.4%
		どちらかというサービスの質は低下した。	0	0.0%
		サービスの質が著しく低下した。	0	0.0%
		未回答	5	4.8%
Q3	候補者を受け入れたことにより、施設の雰囲気に変化はありましたか。	候補者は元気が良く、明るいので、以前に比べて、施設内の雰囲気も明るくなった。	59	56.2%
		候補者の教育に日本人スタッフの手が取られている様子で、以前に比べて、施設全体としてピリピリしている印象がある。	0	0.0%
		候補者の教育を担当している日本人スタッフは大変そうだが、施設全体として見た場合には、特に変わりはない。	36	34.3%
		その他	10	9.5%
		未回答	4	3.8%

「その他」の記載例（一部）

- (Q3) ・ 親切で大変喜んでいる。
 ・ 一生懸命働いている感じで良かった。
 ・ 皆さん和やかに仕事をされており、良い事だと思う。

候補者への質問

回答数 73

※「複数回答可」ではない設問であっても、回答が複数記入されていた場合はそれぞれ計上したため、回答数の合計が合わない場合がある。

		回答数	回答率
Q2	現在取り組んでいる業務について、該当する項目すべてにチェックして下さい。 【複数回答可】	食事の介助	71 97.3%
		排泄の介助	71 97.3%
		移動の介助	72 98.6%
		入浴の介助	66 90.4%
		介護記録の作成	25 34.2%
		その他	27 37.0%
Q3	利用者との日本語による意思疎通は十分に行えていますか。	利用者のお話は十分に理解できている。	2 2.7%
		利用者のお話はだいたい理解できているが、時々分からないことがある。	67 91.8%
		利用者のお話はたまに理解できるが、ほとんど分からない。	6 8.2%
		利用者のお話は全く理解できない。	1 1.4%
Q4	日本人の介護スタッフとの日本語による意思疎通は十分に行えていますか。	日本人の介護スタッフの話は十分に理解できている。	3 4.1%
		日本人の介護スタッフの話はだいたい理解できているが、時々分からないことがある。	68 93.2%
		日本人の介護スタッフの話はたまに理解できるが、ほとんど分からない。	5 6.8%
		日本人の介護スタッフの話は全く理解できない。	2 2.7%
Q5	現在、あなたが課題と感じていることをお聞かせ下さい。 【複数回答可】	利用者とのコミュニケーション	44 60.3%
		日本人の介護スタッフとのコミュニケーション	41 56.2%
		認知症をお持ちの利用者への対応	39 53.4%
		死期が近い利用者や利用者が亡くなったときの対応	18 24.7%
		糖尿病や脳梗塞、心臓病などの病気をお持ちの利用者への対応	27 37.0%
		介護技術の習得	23 31.5%
		介護記録の作成	35 47.9%
		夜勤スタッフとの引き継ぎ(申し送り)	28 38.4%
		日本語の学習	44 60.3%
		介護福祉士の国家試験に向けた学習	58 79.5%
		その他	2 2.7%
未回答	3 4.1%		
Q6	日本語の勉強はどのくらい行っていますか。	まったく行っていない。	2 2.7%
		毎週、1～5時間くらい行っている。	35 47.9%
		毎週、6～10時間くらい行っている。	29 39.7%
		毎週、11時間以上行っている。	9 12.3%

Q7	日本後の勉強を行っている方にお聞きします。日本語の勉強はどのように行っていますか。 【複数回答可】	日本語の専門学校に通っている。	4	5.5%
		日本語の先生に来てもらっている。	49	67.1%
		レポートや日記を作成し、施設の担当者に提出している。	22	30.1%
		日本語の問題集を使って、施設の担当者と一緒に勉強している。	28	38.4%
		日本語能力試験の受験に向けた勉強を行っている。	39	53.4%
		e-learningを使っている。	13	17.8%
		その他	16	21.9%
		未回答	2	2.7%
Q8	今、あなたが仕事をしている施設は、あなたにとって働きやすい環境ですか。	日本人のスタッフや利用者はみんな親切で、とても働きやすい。	51	69.9%
		普通である。	21	28.8%
		困ったことがあっても、日本人のスタッフが相談に乗ってくれず、あまり働きやすいとはいえない(働きにくい)。	8	11.0%
		未回答	2	2.7%
Q9	施設からもらったお給料から、インドネシアの家族に仕送りしていますか。	している。	64	87.7%
		していない。	5	6.8%
		未回答	4	5.5%
Q10	仕事がお休みの日は何をしていますか。 【複数回答可】	日本語の勉強をしている。	48	65.8%
		家の掃除や近所のお店で買い物などをしている。	67	91.8%
		少し遠くの場所に行って、観光などをしている。	36	49.3%
		日本に来ている他のインドネシア人と一緒に遊んでいる。	48	65.8%
		その他	18	24.7%

「その他」の記載例（一部）

- (Q2) ・ 移乗の介助
・ 口腔ケア
・ リハビリの介助
- (Q5) ・ 夜勤をまだ行っていないため、利用者の夜の状況が分からない。
- (Q7) ・ 介護福祉士の国家試験に向けた学習をしている。
・ 漢字の宿題を、毎日、施設の担当者に提出する(1週間5回程度。)
・ 日本の歌の言葉を使って勉強している。
・ 日本語の教科書と漢字の本を使って、施設の担当者と一緒に勉強している。
・ 国家試験の問題集を使って職場の先輩と一緒に勉強している。
・ 毎週一回、公民館でボランティアと一緒に勉強している。
・ ボランティアで日本語を教えている大学の先生のところへ、日本語を学んでいる。
・ インターネットで自己学習している。日記を日本語の先生に提出している。

(Q9) インドネシアの家族への仕送り額(月額)

仕送り金額(月額)	回答数	回答率
1~5万円未満	15	23.4%

5万円～10万円未満	23	35.9%
10万円以上	7	10.9%
金額未回答	19	29.7%
合計	64	100.0%

- (Q10) ・ インドネシアのテレビを見たり、家族に電話したり、インドネシアの料理を作っている。
- ・ 他の職員とバレーボールしたり、観光などを行っている。
 - ・ 毎週日曜日、教会へ行っている。
 - ・ お祈りをしている。
- (Q11) (日本語、業務のこと)
- ・ 介護の言葉が分からなくて、利用者と会話ができず困ることがある。
 - ・ 漢字が難しい。
 - ・ 日本語を勉強したいと思うが、時間は少ないし、先生がいないため十分にできない。
 - ・ 特に認知症の利用者とのコミュニケーションが難しい。
 - ・ 日本人スタッフとのコミュニケーションの取り方に困っている。
- (生活面のこと)
- ・ 日本の食べ物があまり食べられない。
 - ・ 物価が高い。
 - ・ 周りにインドネシア人が少ない、友達になかなか会えない。
 - ・ 良く眠れない。
 - ・ 給料が少ないため、買い物や仕送りができない。
 - ・ 家族に会えず寂しい。
- (介護福祉士試験のこと)
- ・ 介護福祉士の国家試験を易くして欲しい。
 - ・ 国家試験の受験機会を増やして欲しい。
- (その他)
- ・ 今まで困ったことがない。